

教育目標達成のための主な教育活動・取組

自ら学ぶ子【確かな学力の育成】

◆学び合い伝え合う学習の推進

- ◎一人一人が尊重される雰囲気をつくり、各学年に応じた話し方を身に付けさせる。
 - ・「聞き方あいうえお」と「話し方かきくけこ」及び「声のものさし」の活用・実践

◎授業展開を工夫し、主体的で対話的な、深い学びにつながる授業改善を行う。

- ・学習形態を工夫し（ペア学習・グループ活動）し、考えを伝え合ったり議論したりして、自分の考えを広げる場面の意図的な設定。

■算数科におけるTTや少人数指導の実施

1クラス2人体制のTT、3クラスを4クラスに分けての少人数や習熟度別学習

■外国語科における教科担任制

■ICTの活用（一人1台のタブレット等の活用など）

◆学習意欲を高める授業の工夫・改善

■児童の学習意欲の向上（教員の資質・能力の向上のための校内研修の実施など）

【学校課題】「自分の思いや考えをはっきりと伝えることができる
児童の育成～対話的な学びの充実をめざして～」

研究授業、授業研究、教員相互の授業参観などの実施

◆特別支援教育の推進

■特別支援学級（知的・自情・肢）

■交流及び共同学習

■インクルーシブ教育

■個別の支援教室（ひまわり学級）

■ユニバーサルデザインを意識した教室環境



SDGsを学ぼう、考えよう、やってみよう

- ・総合的な学習の時間（3年生：資源、4年生：福祉、5年生：環境、6年生：国際理解）
- ・特別活動（委員会活動）：アルミ缶回収

思いやりのある子【豊かな心の涵養】

涵養：水がしみこむようにゆっくりと養い育てること

◆望ましい人間関係づくりの推進

◎あいさつの習慣化、感謝の言葉の奨励

■あいさつ運動の取組（委員会児童）

■感謝の会（児童会活動、全校生）

■学級経営の充実、学業指導の推進

（学業指導：学びに向かう集団づくりと児童が意欲的に取り組む授業づくり）

■Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート、意欲や満足度の尺度）の実施

■教育相談の実施「先生と話そうよ」（年2回、随時）

◆心の教育の充実

■人権教育の推進 ■道徳科の授業の充実（校内研修の充実）

■小さな自信を育て、自己肯定感や自己有用感を高める取組

■成功体験の積み重ねを大切に。 ■ほめて、認めて、励まして。

◆特別活動の充実

◎児童会活動の活性化と児童の活躍の場の保障

■異学年交流の実施

たくましい子【健やかな体の育成】

◆体力の向上

◎教科体育の充実

■運動量の確保

◎「体力アップ月間」の実施（持久走・なわとびなど）

■体力向上の可視化（ワークシートやがんばりカード、タブレットの活用）

◆健康教育の推進

◎よい姿勢

■望ましい食習慣の育成

■病気の予防などの自己管理意識の向上

◆安全指導の徹底

◎登下校の安全

■危険の予知予測とけが防止

■専門的な外部人材の活用